



2026 年 10 月 15 日

各 位

会社名 関通ホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 達城 利卓
(コード番号 : 9326 東証グロース)
問合せ先 財務戦略本部長 西川 良樹
電話番号 0800-555-0500

2027 年 2 月期 第 2 四半期 (中間期) 連結業績予想と実績値との差異 及び通期連結業績予想の取り下げに関するお知らせ

当社は、2026 年 4 月 10 日付「2026 年 2 月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」において公表いたしました 2027 年 2 月期第 2 四半期 (中間期) 連結業績予想と、本日公表の 2027 年 2 月期第 2 四半期 (中間期) 実績値との間に差異が生じたのでお知らせいたします。

また、本日開催の取締役会において、同日付で公表いたしました 2027 年 2 月期 (2026 年 3 月 1 日～2027 年 2 月 28 日) 通期連結業績予想を一時的に取り下げ、未定といたしましたので、下記のとおりお知らせ申し上げます。

記

1. 2027 年 2 月期 第 2 四半期 (中間期) 連結業績予想と実績値との差異 (2026 年 3 月 1 日～2026 年 8 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 中間純利益	1 株当たり 中間純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	9,810	120	80	52	5.08
今回実績 (B)	10,271	△58	△73	△135	△13.36
増減額 (B－A)	461	△178	△153	△187	－
増減率 (%)	4.7	－	－	－	－
ご参考：前期第 2 四半期実績 (2026 年 2 月期中間期)	8,661	72	51	61	6.16

2. 差異の理由

[営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する中間純利益]

損益面におきましては、主力の物流事業において一部顧客の出荷数量が大幅に減少したことが大きく影響いたしました。これにより物流拠点の倉庫稼働率が低下 (空床面積が増加) したことに加え、労務費や倉庫賃借料等の固定費負担が重く寄与した結果、利益面が大きく下振れる要因となりました。

この結果、営業利益は△58 百万円 (前回発表予想は 120 百万円の営業利益)、経常利益は△73 百万円 (前回発表予想は 80 百万円の経常利益)、親会社株主に帰属する中間純利益は△135 百万円 (前回発表予想は 52 百万円の中間純利益) となり、当初の予想を下回り赤字となる差異が生じました。

3. 2027 年 2 月期 通期連結業績予想数値の取り下げについて
(2026 年 3 月 1 日～2027 年 2 月 28 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	20,008	484	409	266	25.84
今回修正予想 (B)	未定	未定	未定	未定	未定
増減額 (B－A)	—	—	—	—	—
増減率 (%)	—	—	—	—	—
ご参考：前期連結実績 (2026 年 2 月期)	18,345	319	285	206	20.38

4. 通期連結業績予想の取り下げの理由

2027 年 2 月期の通期連結業績予想につきましては、当第 2 四半期連結累計期間における利益未達および下期への固定費負担等を踏まえ、2026 年 4 月 10 日に公表いたしました通期連結業績予想について一旦取り下げ、「未定」とすることといたしました。

具体的な金額等の影響に関しては現在算定作業を進めておりますが、主力顧客の取扱数量推移や下期挽回策の進捗を総合的に見極めております。

今後の業績動向および下期の着地見通し精査を進め、合理的な算定が可能となった段階で速やかにあらためて開示いたします。

以上

【業績予想に関するご留意事項】

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因によって異なる場合がございます。